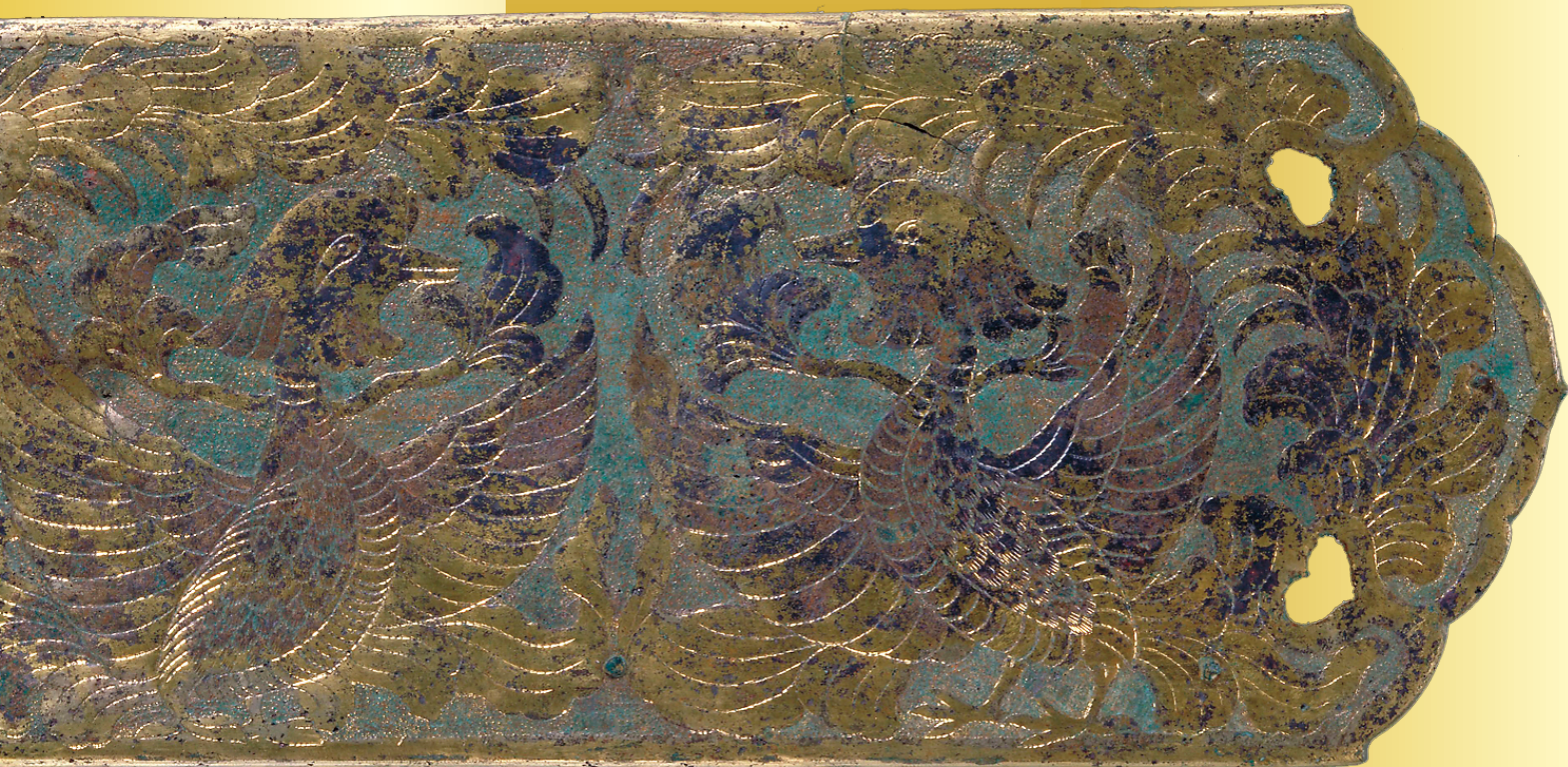


京都市考古資料館特別展示

極楽浄土への想い

—鳥羽法皇と鳥羽離宮金剛心院跡—

入館無料



●鴛鴦文八双金具（京都市有形文化財「鳥羽離宮金剛心院跡出土品」）

平成29年

期間

7月15日[土] ▶ 11月26日[日]

場所

京都市考古資料館
1階特別展示コーナー

【休館日】月曜日（祝日の場合は翌平日）

【開館時間】午前9時～午後5時

（入館は午後4時30分まで）



●方形環珞
（京都市有形文化財
「鳥羽離宮金剛心院跡出土品」）

主催

京都市考古資料館・公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

極楽浄土への想い

—鳥羽法皇と鳥羽離宮金剛心院跡—

平安時代後期の1052年には末法に入り、修行を積んでも悟りを得ることのできない世が到来するとされました。貴族も庶民も現世における救済が果たされないことに畏れを抱き、死後の極楽浄土への往生を強く求めるようになります。それを果たすには他力（阿弥陀如来の本願力）に依るしかないという阿弥陀信仰が広く浸透し、皇族・貴族は競うように阿弥陀堂の建築に情熱を注ぎます。特に鳥羽離宮の造営は「宛ら都遷りの如し」と称されました。

今回の展示では、京都市伏見区の「鳥羽離宮金剛心院跡出土品」が京都市の有形文化財に指定されたことを記念し、院政期に白河・鳥羽上皇（法皇）により造営された鳥羽離宮跡の発掘調査成果とともに、それら多岐にわたる出土遺物からみえる極楽浄土への想いを紹介します。

皆様のご来館をお待ちしています。



●鬼瓦（京都市有形文化財「鳥羽離宮金剛心院跡出土品」）



●木製五輪塔（鳥羽離宮東殿跡出土）

展示内容（一部）

京都市有形文化財「鳥羽離宮金剛心院跡出土品」を中心として、以下のテーマに沿って展示します。

- 鳥羽離宮と金剛心院
鳥羽離宮、その調査と復元
金剛心院跡の調査
- 荘厳な建物、華美な装飾
華美な装飾
歌舞音曲
- 祈りと弔い
祈り
弔い・供養



●柿経（鳥羽離宮東殿跡出土）

京都市考古資料館

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1

交通 市バス：「今出川大宮」下車すぐ／「堀川今出川」下車西へ2分

TEL 075-432-3245 FAX 075-431-3307

<http://www.kyoto-arc.or.jp/museum>

